

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：学校で遭遇しうる疾患について、医学・生理学の基本にのっとり、診断・病態生理・治療・生活指導を説明/提案できる。ディプロマ・ポリシーの栄養学の幅広い視野に立って、専攻分野における研究能力の修得に関連する。

授業の概要：学校で遭遇しうる疾患について、1 回目は病態生理に関して講義を行いその後自己学習を行う。2 回目は関連したテーマを講義・提示するので1 回目の講義をもとに参考書等も用いてレポートを完成させる。これを3 セット行う。最後に発表しレポートを提出する。

【授業計画】

- ① 「肥満・やせ」について講義。
- ② 「肥満・やせ」に関連してテーマを提示するので参考書等でレポートを完成させる。
- ③ 「感染症；特にインフルエンザ、新型コロナ」について講義。
- ④ 「感染症；特にインフルエンザ、新型コロナ」に関連してのテーマを提示するので参考書等でレポートを完成させる。
- ⑤ 「運動で起こりうる疾患」について講義。
- ⑥ 「運動で起こりうる疾患」に関連してテーマを提示するので参考書等でレポートを完成させる。
- ⑦ 上記より任意の1 つのテーマに対し、作成したレポートをもとにパワーポイントを用いて発表を行う。

【授業外学習】

受講前には、学部生理学の教科書の該当する項目を復習すること。

【成績評価の方法・基準】

授業への参加態度 50%、発表内容 50%、により評価する。

【教科書】

特になし。

【参考書】

東京化学同人「解剖・生理学」

【教材】

資料を配布する。

【備考】

特になし